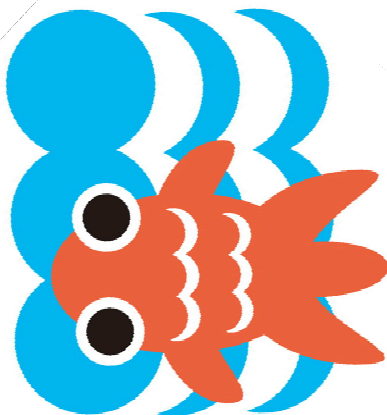


平成29年度大和郡山市 在宅医療・介護連携推進事業の取り組み



大和郡山市
マスコットキャラクター

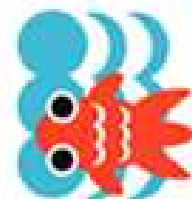


- 大和郡山市の概況
- 大和郡山市の在宅医療・介護連携推進の取り組み
- 大和郡山市の在宅医療・介護連携推進事業
 - ① 在宅医療・介護連携推進会議
 - ② 作業部会A「顔の見える関係づくり」
 - ③ 作業部会B「情報連携ツール」
 - ④ 作業部会C「入退院調整ルールづくり」
 - ⑤ 大和郡山市在宅医療介護支援センター
 - ⑥ 医療・介護Webマップ
- その他の取り組み



平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。

奈良県 **大和郡山市**

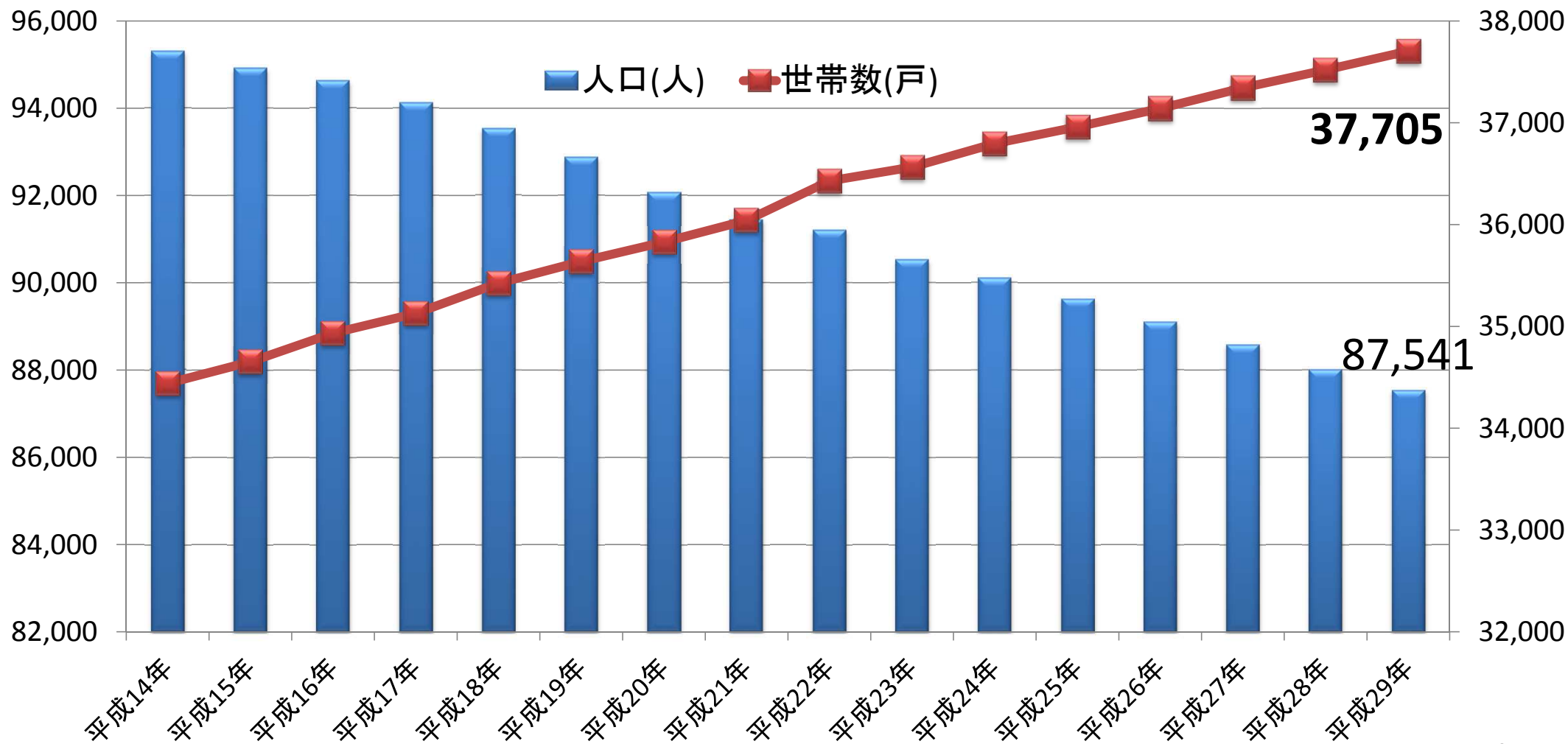


大和郡山市の概況

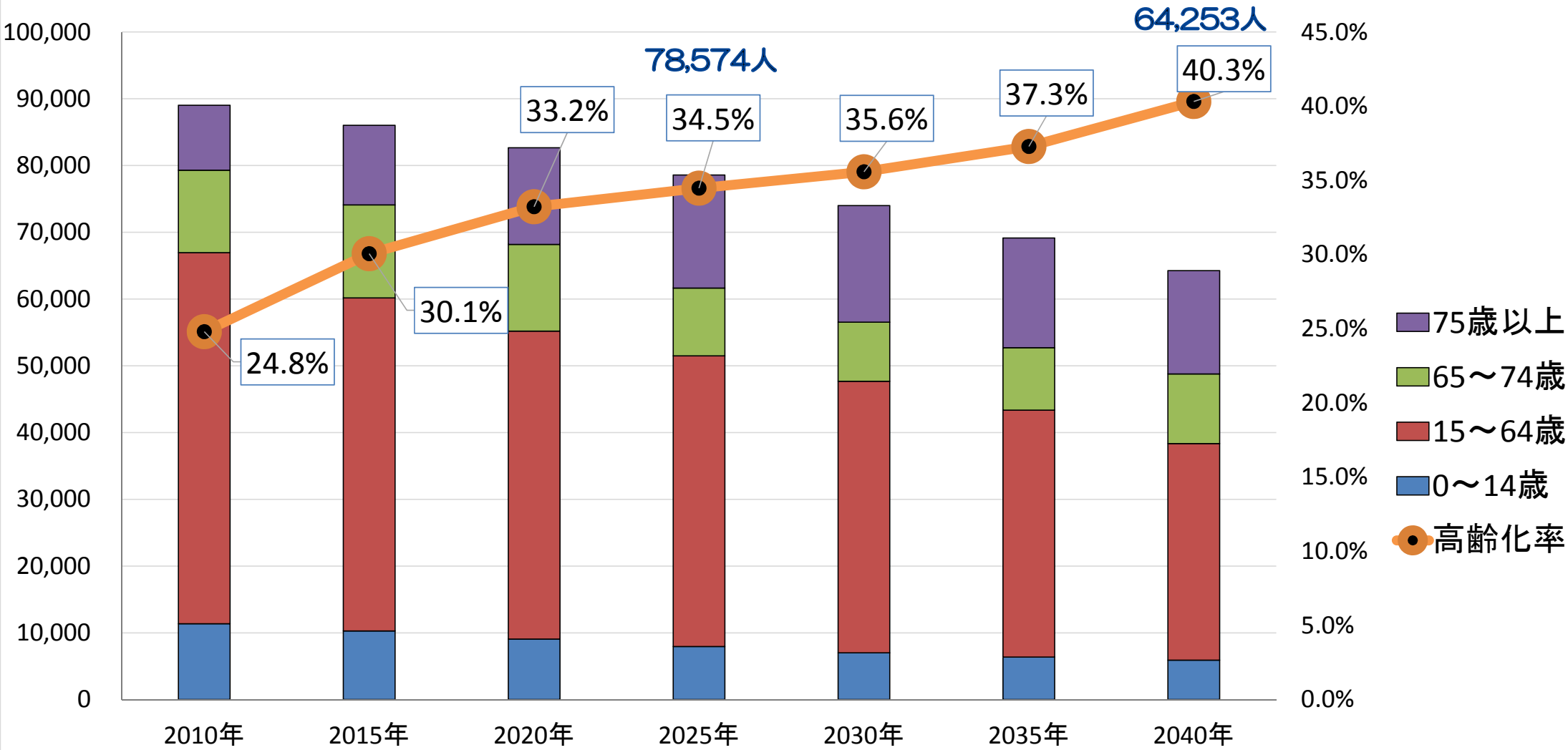
| | |
|---|----------------------------|
| 人口(*) | 86,937人 |
| 65歳以上人口(*) | 27,014人 (うち75歳以上: 13,166人) |
| 高齢化率(*) | 31.07% |
| 日常生活圏域数 | 1 圏域 |
| 地域包括支援センター数 | 4カ所 (うち直営1カ所、委託3カ所) |
| 介護保険料 | 5,800円 |
| 要介護認定率 | 18.5% |
| 施設サービス費給付費割合 | 32.4% |
| (介護老人福祉施設 6カ所, 介護老人保健施設 4カ所, 介護療養型医療施設 1カ所) | |

H30.4.5介護福祉課調べ (*):H30.3.31現在

大和郡山市の人口の推移（住民基本台帳／各年3月31日現在）

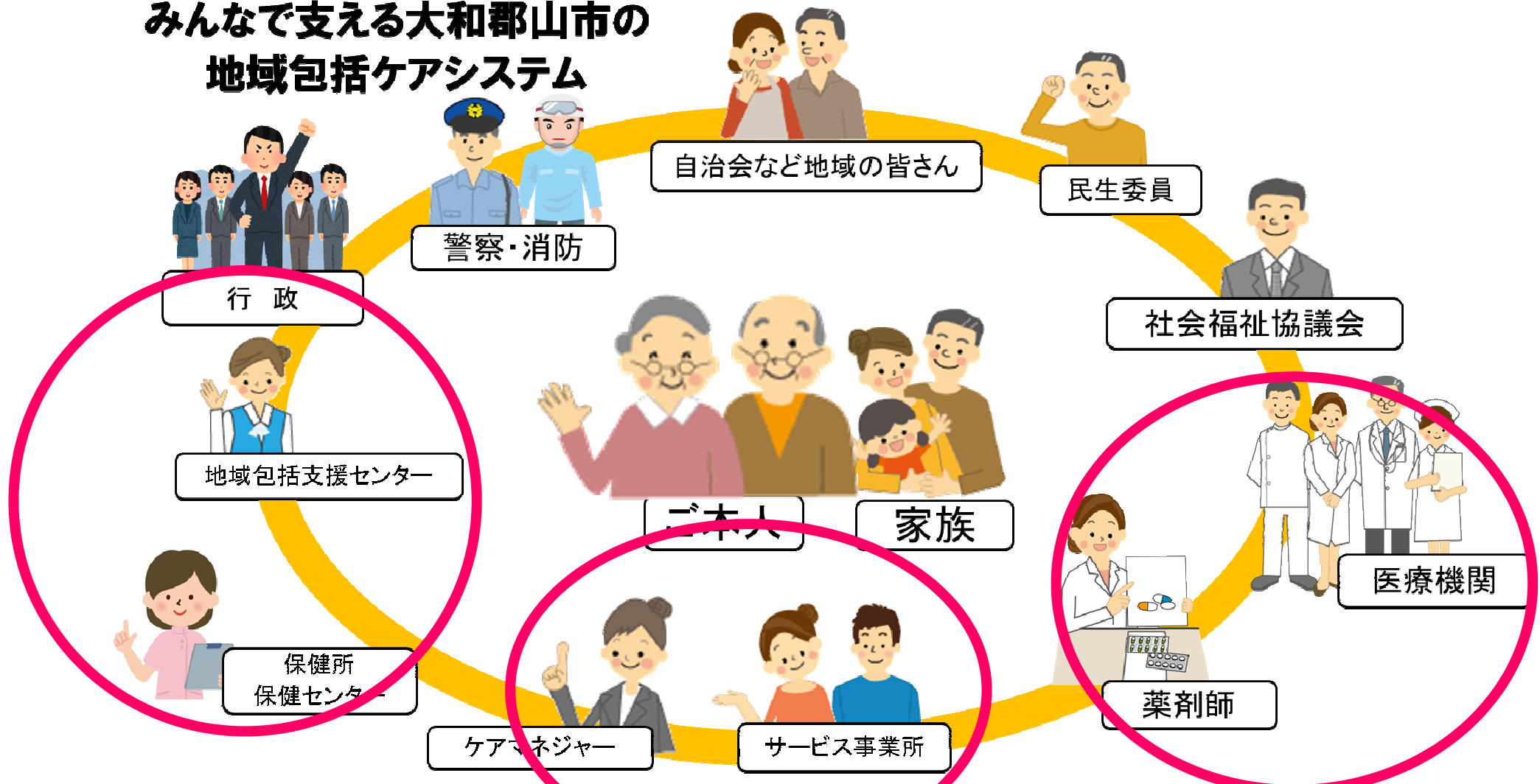


大和郡山市の人口・高齢化率推計



(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

みんなで支える大和郡山市の 地域包括ケアシステム



多くの人々が医療と介護の支援を必要としている

大和郡山市の在宅医療・介護連携推進の取り組みについて

○庁内体制の整備

平成28年4月「地域包括ケア推進課」を設置（介護保険以外の高齢者施策部門と地域包括支援センターを統合）。平成29年4月専任の保健師を配置。

○大和郡山市医師会との連携

平成28年9月在宅医療・介護連携推進事業プラン作成強化セミナーに市医師会の在宅医療担当役員と行政担当課長が参加。市の在宅医療・介護連携推進について協議を始める。

○在宅医療・介護連携会議等への参画を行う市内職能団体の設立を支援

ケアマネジャー、訪問看護師、リハビリテーション関係者

大和郡山市の在宅医療・介護連携推進事業

| 事業内容 | 大和郡山市在宅医療・介護連携推進事業 | 具体策を検討するための作業部会、成果物等 | |
|----------------------------|--------------------|----------------------|---------------------------|
| ア) 地域の医療・介護の資源の把握 | | } | ①在宅医療・介護連携推進会議 |
| イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 | | | ④部会C「入退院連携調整」 |
| ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 | | | ③部会B「情報連携ツール」 |
| エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援 | | | ⑤在宅医療介護支援センター |
| オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 | | | ②部会A「顔の見える関係」 |
| カ) 医療・介護関係者の研修 | | | ⑥市内医療介護Webマップ |
| キ) 地域住民への普及啓発 | | | 県の開催する研修会への参加、近隣市との情報交換など |
| ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 | | | |
| ケ) その他 | | | |

平成28年12月から順次、検討・運営スタート！

- ①大和郡山市在宅医療・介護連携会議
- ②作業部会A「顔の見える関係づくり」
- ③作業部会B「情報連携ツール」
- ④作業部会C「入退院調整ルールづくり」
- ⑤大和郡山市在宅医療介護支援センター
- ⑥市内医療介護Webマップ



大和郡山市在宅医療・介護連携推進事業への協力機関（団体）

| 協力機関（団体）名 | |
|-----------|-------------------------|
| 医療 | 大和郡山市医師会 |
| | 大和郡山市歯科医師会 |
| | 大和郡山市薬剤師会 |
| | 大和郡山市訪問看護事業者連絡会 |
| | 大和郡山市リハビリテーション連絡協議会 |
| | 大和郡山市在宅医療介護支援センター |
| 介護 | 大和郡山市居宅介護支援事業者連絡会 |
| | 大和郡山市地域包括支援センター |
| | 大和郡山市第二地域包括支援センター |
| 行政 | 大和郡山市福祉健康づくり部 介護福祉課 |
| | 大和郡山市福祉健康づくり部 地域包括ケア推進課 |
| | 大和郡山市福祉健康づくり部 保健センター |

（事務局）大和郡山市福祉健康づくり部 地域包括ケア推進課



2016.12
在宅医療・介護連携推進会議

①在宅医療・介護連携推進会議

| 実施日 | 内容 | 参加団体数 | 参加者数 |
|----------|--|-------|------|
| H29.4.1 | <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度在宅医療・介護連携推進について 作業部会の設置 <ul style="list-style-type: none"> A)顔の見える関係づくり B)情報連携ツール C)入退院連携 | 8 | 23 |
| H29.9.12 | <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度在宅医療・介護連携推進会議の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> 作業部会A（顔の見える関係づくり） 作業部会B（情報連携ツール） 作業部会C（入退院調整ルールづくり） 大和郡山市在宅医療介護支援センターの設置について 今後の在宅医療・介護連携推進会議について | 10 | 26 |
| H30.3.29 | <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度在宅医療・介護連携推進会議の実施報告 <ul style="list-style-type: none"> 作業部会A（顔の見える関係づくり） 作業部会B（情報連携ツール） 作業部会C（入退院調整ルールづくり） 大和郡山市在宅医療介護支援センターの活動報告について 平成30年度在宅医療・介護連携推進会議について | 10 | 29 |

（大和郡山市の在宅医療・介護連携の課題）

＊在宅医療を担っている各医療機関数等は、ほぼ全国平均に近い整備状況となっているが、訪問診療専門の診療所がない。

＊医療と介護の事業所間で患者情報を共有するシステムが未構築である。

＊在宅医療についての地域住民への普及啓発ができていない。



*在宅医療に関する相談窓口が設置されていない。

*居宅介護支援事業者向けの研修会を年間3~4回実施している。参加者の固定化（参加していない介護支援専門員が約2割）、介護支援専門員の転職や退職が多く質の向上に繋がりにくい。



②作業部会A「顔の見える関係づくり」

| 実施日 | 内容 | 参加団体数 | 参加者数 |
|----------|---|-------|------|
| H29.5.26 | 作業部会のメンバーの団体でも、顔の見える関係づくりに着目した研修や事例検討の機会は少ないことが分かった。新たな取り組みを行う、現在の活動を発展させて多職種の参加を募る、などやり方はいろいろ考えられるので、各団体に持ち帰り検討する。 | 8 | 15 |
| H29.8.28 | ①地域包括支援センター、居宅支援事業者連絡会→事例検討会 ②訪問看護事業者連絡会、リハビリテーション連絡協議会 →「誤嚥予防、姿勢など」についての研修会 ③薬剤師会→各職種との連携ができる事業などを企画する。 | 9 | 16 |
| H30.1.29 | 各職種で開催する取組みの進捗状況報告 | 10 | 19 |



2017.8 作業部会 (A)



薬剤師会

- お互いの立場、視点を尊重した上で関係性をつくっていかないと交わることは難しいので、医師からは医療の、ケアマネジャーからは介護の情報を出し合って意見交換ができるような提案をしていくことが課題。
- 地域ケア会議にあまり参加できていないので、まずはそういった会への理解を深めた上で、積極的に参加できるような環境づくりを進めていく必要がある。
- ケアマネジャーの事例検討会を多職種での事例検討会で行ってみては？
- 月に2回テーマを決めて市民向けの健康講座を開いているが、それを一步広げて講師として専門職の方に来ていただくことで、我々も勉強させていただきたい。

リハ職さん、訪問看護
連絡会と一緒に
誤嚥予防の
研修会を開催
しませんか？



居宅介護支援事業所連絡会主催で
薬剤師会の協力を得て新規開催

介護支援専門員研修会
「薬剤師の役割と多職種にぜひ聴いてほしいこと」
H30.2.9

訪問看護事業所連絡会・リハビリテーション連絡協
議会による合同研修会を新規開催

「食べる」ことを一緒に考えましょう！H30.3.16

平成29年度多職種連携の取組み

地域包括支援センター主催事業の拡充（他機関からの参加受け入れ）

- 介護支援専門員研修会「精神障害者の理解と事例検討」H29.10.24
- 高齢者虐待防止研修会「高齢者虐待と成年後見制度について」
H29.11.2
- スキルアップ事例検討会（矢田・片桐・昭和）H30.2-3

平成29年度は顔の見える関係づくりを深めるために、それぞれの主催事業を拡充したり、他機関と協働で事業を開催するなど、多職種連の取組みを行いました。

③作業部会B「情報連携ツール」

| 実施日 | 内容 | 参加団体数 | 参加者数 |
|----------|---|-------|------|
| H29.5.30 | <p>①ケアマネ⇔医師間の自己紹介の徹底</p> <p>②情報交換のツール（FAX）の検討 FAXの様式については職種の違いにより、必要な情報が異なるが、実際に使用している様式の中から、よいものを大和郡山市のひな形として作成する。</p> <p>③奈良あんしんネットの登録をすすめてみましょう。</p> | 8 | 14 |
| H29.8.28 | <p>ケアマネジャーから医師への連絡票や大和郡山市在宅医療・介護連携シートの活用を通して、在宅医療と介護関係者の連携が取りやすくなる。この様式の活用や、情報共有にあたっての課題などが出てくれば、その都度、部会で検討の機会を持つ。こういったFAX等のアナログなツールとデジタルツールをうまく活用して、地域の方々を支えていけるようなシステムを構築できるよう今後も取り組んでいく。</p> | 9 | 16 |



ケアマネジャー

看護師

理学療法士

薬剤師

作業部会のながれ

2017.6.12
居宅介護支援事業者連絡会

作業部会で話し合った課題について、参加者が各団体に持ち帰り協議する



各団体に話し合った内容を作業部会で報告し、具体的な取組へとつなげる

成果物（連携シートなど）を実際に活用しながら、不具合が出てくれば、次の作業部会で報告し修正する

大和郡山市在宅医療・介護連携シート

平成 年 月 日

医療機関
事業所名

ケアマネジャーから主治医への連絡票

この度、貴院受診中の下記利用者様の介護支援専門員として担当させていただくことになりました。今後の介護保険制度におけるケアプラン作成において、先生に何かとご助言頂きたく存じますので、宜しくお願い申し上げます。

まずは書中をもってご報告申し上げます。

| フリガナ | 性別 | 生年月日 | 電話番号 |
|------|-------|-------|------|
| 氏 名 | 男 ・ 女 | 年 月 日 | |

大和郡山市在宅医療・介護連携シート

平成 年 月 日

| | | | | |
|----|----|-----|--------------|--|
| 宛先 | 御中 | 発信元 | 医療機関 事業所名 | |
| | | | 電 話 | |
| | | | F A X | |
| | | | 担 当 者 | |

平素より大変お世話になっております。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、下記の件につきまして FAX させていただきます。

| | | | | |
|--------|---|---|-------|------|
| フリガナ | | 性別 | 生年月日 | 電話番号 |
| 氏 名 | | 男・女 | 年 月 日 | |
| 本票送付目的 | <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 連絡 <input type="checkbox"/> 相談 <input type="checkbox"/> 返信 | <input type="checkbox"/> 返信願います <input type="checkbox"/> 返信不要です | | |
| 相談内容等 | | | | |

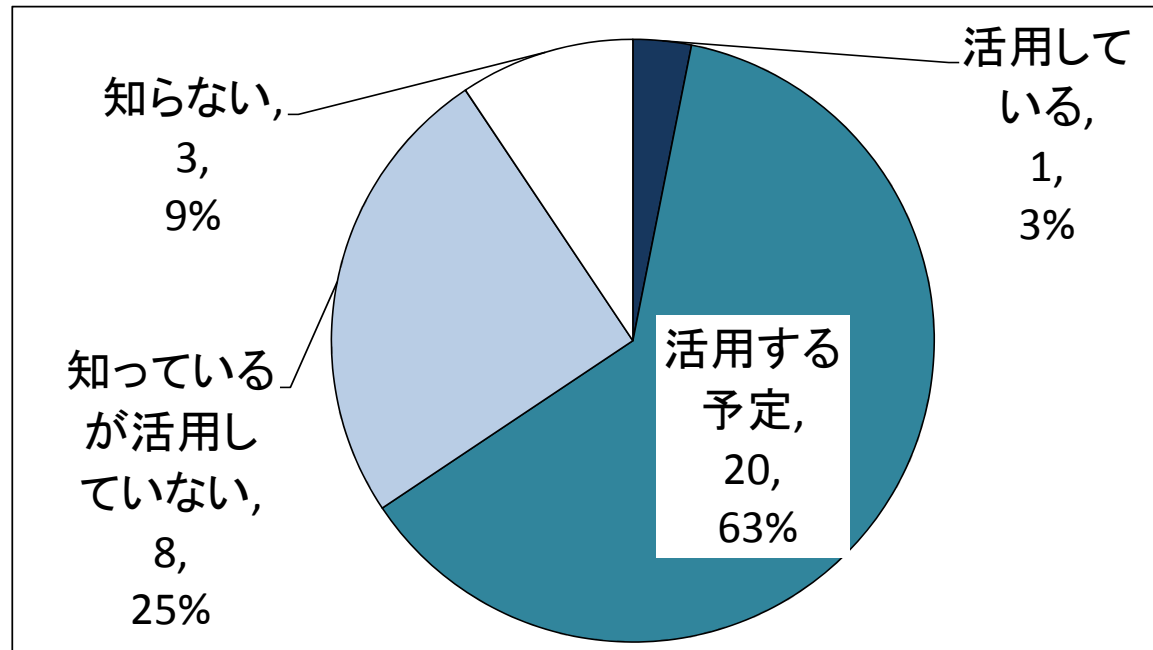


回答



| | |
|--------|---|
| 回答方法 | <input type="checkbox"/> 直接会って話します 日時： 月 日 時頃にお越しく下さい |
| | <input type="checkbox"/> 電話で話します 日時： 月 日 時頃に連絡ください |
| | <input type="checkbox"/> FAXで回答します |
| 伝達事項など | <input type="checkbox"/> 相談事項等について了承しました |

平成29年10月1日から使用開始となった「大和郡山市在宅医療・介護連携シート」について、居宅介護支援事業者連絡会が活用状況調査を行いました。
(平成29年10月末 32事業所より回答)



(意見)

- ・始まったばかりなのでまだよく分からないが、医師との連絡をとりやすくなったと感じた。
- ・10月の会議で知りました。様式を取り寄せて今後活用したい。

④作業部会C「入退院調整ルールづくり」

<目的>

在宅から病院、病院から在宅へ相互に情報の共有が必要なケースについてのルールづくりを多職種で行うことで、大和郡山市の入退院に関わるスタッフの顔の見える関係の強化をはかり、シームレスな支援体制を構築する。

<メンバー>

在宅医療関係者：医師、訪問看護師、薬剤師、在宅医療介護支援センター、訪問リハビリ等

病院関係者：医師、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、事務担当者等

介護関係者：ケアマネジャー、地域包括支援センター等

行政：介護福祉課、保健センター、地域包括ケア推進課（事務局）

<協議する内容>

| 視点 | 具体的な検討内容 |
|--|---|
| <p>(1) かかりつけ医がいない入院患者で、在宅で医療ケアが必要な場合の退院調整のルールづくり</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 患者の疾患、重症度に応じた医療（緩和ケアを含む）が多職種協働により、できる限り患者が住み慣れた地域で継続的、包括的に提供されるよう現状把握と課題の共有をはかる。 • 在宅医療介護支援センターの活用 |
| <p>(2) かかりつけ医はいるが介護保険未申請等でケアマネがない場合の退院調整が必要な患者の情報提供のルールづくり</p> | <p><u>介護保険未申請の場合の退院調整</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 退院調整が必要な患者の基準 • 介護保険の申請手順、情報の伝達先等 • 認定済みだがサービスを利用していない場合にケアマネを決める手順 等 |

| 視点 | 具体的な検討内容 |
|--|---|
| <p>(3) かかりつけ医とケアマネがいる場合の入院時と退院時の情報提供のルールづくり</p> | <p><u>入院時にケアマネから病院への連絡</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院をケアマネに知らせるのは誰か ・入院後、いつ情報提供書を渡すか 等 <p><u>退院時に病院からケアマネへの連絡</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院をケアマネに知らせるのは誰か ・何日前までに知らせるか ・退院カンファレンスで聞きたいこと等 |
| <p>(4) 末期がんなどで退院後も医療ニーズが高く、容態変化が著しいと予測される患者等の情報提供のルールづくり</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医師、薬剤師、看護師、訪問リハ等と病院、療養に関わるスタッフの情報共有について |

<スケジュール>

| 日程 | 時間 | 内容 | | 会場 |
|--------------------|-----------------|---------------|---|------------------------|
| 平成29年10月20日 (金) | 14:00- 15:30 | 全体会議 | <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携推進事業について 在宅医療介護支援センターについて | やまと郡山城ホール しせつシオンホール |
| 平成29年11月27日 (月) | 13:30- 15:30 | 病院関係者会議 | 職域ごとに現状確認と課題抽出 (GW) ～病院とケアマネの情報連携について | やまと郡山城ホール しせつシオンホール |
| 平成29年12月11日 (月) | 13:30- 15:30 | ケアマネジャー会議 | 職域ごとに現状確認と課題抽出 (GW) ～病院とケアマネの情報連携について | やまと郡山城ホール しせつシオンホール |
| 平成30年1月22日 (月) | 13:30- 15:30 | 全体会議 | 課題の共有と解決策の提示 (GW) | やまと郡山城ホール しせつシオンホール |
| 平成30年2月2日 (金) | 13:30- 15:30 | ケアマネジャー会議 | 提示された解決策について検討 (GW) | やまと郡山城ホール しせつシオンホール |
| 平成30年2月23日 (金) | 13:30- 15:30 | 地域・病院の医療関係者会議 | 病院、地域主治医、訪問看護師、薬剤師等の連携 | やまと郡山城ホール しせつシオンホール |
| 平成30年3月2日 (金) | 14:00- 15:30 | 医師会・地域包括ケア推進課 | 訪問診療医を決める手順について など | 市役所会議室 |
| 4月以降 | | | 入退院調整ルールの運用開始に向けて | 未定 |

| 時期 | 内容 | 病院 | ケアマネジャー | 地域包括支援センター | その他 | |
|-----------|--|--|---|------------|--|------------------------|
| 平時 | 在宅 ⇄ 病院(外来) 情報共有 | ()で 連携シートなどFAXの受け取り | * ケアマネジャーから主治医への連絡票 * 大和郡山市在宅医療・介護連携シート | | | |
| 入院直後 | 介護保険サービスを利用しているようだが 担当CMが不明 | 介護福祉課 電話 53-1151 (内 515-514)へ連絡 | | | 介護福祉課 未認定、CMがない場合は包括 へ情報伝達→この後の対応は退 院調整基準などの情報を得てから 対応する。 担当CMが把握できれば市から CMへ情報伝達 | |
| | 担当CMと病院が 情報共有を行う | 入院を担当CMに知らせて、 入院時情報提供書を ()で受け取る | 入院を知った日から()日以内に 入院時情報提供書を提出 | | | |
| 退院に向けて | 在宅主治医が必要になった | 本人、家族の意向を確認した上で、在宅主治医が決まらなければ在宅医療介護支援センターへ相談する | | | 在宅医療介護支援センター | |
| | 在宅で何らかの支援が必要そうだ | 退院調整が必要な患者の基準に沿って確認 | | | | |
| | <退院調整が必要な対象者で> 介護認定有り+CMがついていない 又は 介護保険の申請が必要な場合の 退院調整 | 当事者の希望等があれば、居宅支援事業所等の情報提供を行う | | 退院調整の開始 | | 必要に応じて 在宅医療介護支援センター |
| | | CM決定や介護保険申請ができない(支援者がいない) | | | 本人、家族等の意向を確認しながら介護保険申請等の支援と退院調整の開始 | |
| | 担当CMに退院を知らせる | 退院()日前に知らせる | | | | |
| 退院カンファレンス | 院内、地域の医療・介護関係者の招集 | | * 退院カンファレンスに参加 * 退院時情報共有書を活用して情報収集 * ケアプラン作成にあたっては主治医の意向を確認 | | | |



| 実施日 | 参加者 | 参加団体数 | 参加者数 |
|-----------|------------------|-------|------|
| H29.10.20 | 関係者全員 (*下記参照) | 40 | 77 |
| H29.11.27 | 主に 病院関係者 | 14 | 34 |
| H29.12.11 | 主に ケアマネジャー | 36 | 65 |



(*) 在宅医、薬剤師、訪問看護師、病院関係者（医師、相談員、病棟看護師）、ケアマネジャー、地域包括支援センター、保健センター、行政等



全体会議



ケアマネジャー会議



| 実施日 | 参加者 | 参加団体数 | 参加者数 |
|-------------------|-------------------------|-------|------|
| H30.1.22 | 主に病院・CM代表者 | 25 | 54 |
| H30.2.2 | 主にケアマネジャー | 31 | 63 |
| H30.2.23 | 医師・訪問看護・リハ職・薬剤師・病院関係者など | 35 | 65 |
| 計6回開催 延べ参加者数 358人 | | | |

⑤大和郡山市在宅医療介護支援センター

平成29年10月より一般社団法人大和郡山市医師会への委託事業として実施
相談日：月～金（祝日、年末年始除く） 時間：10：00～16：00

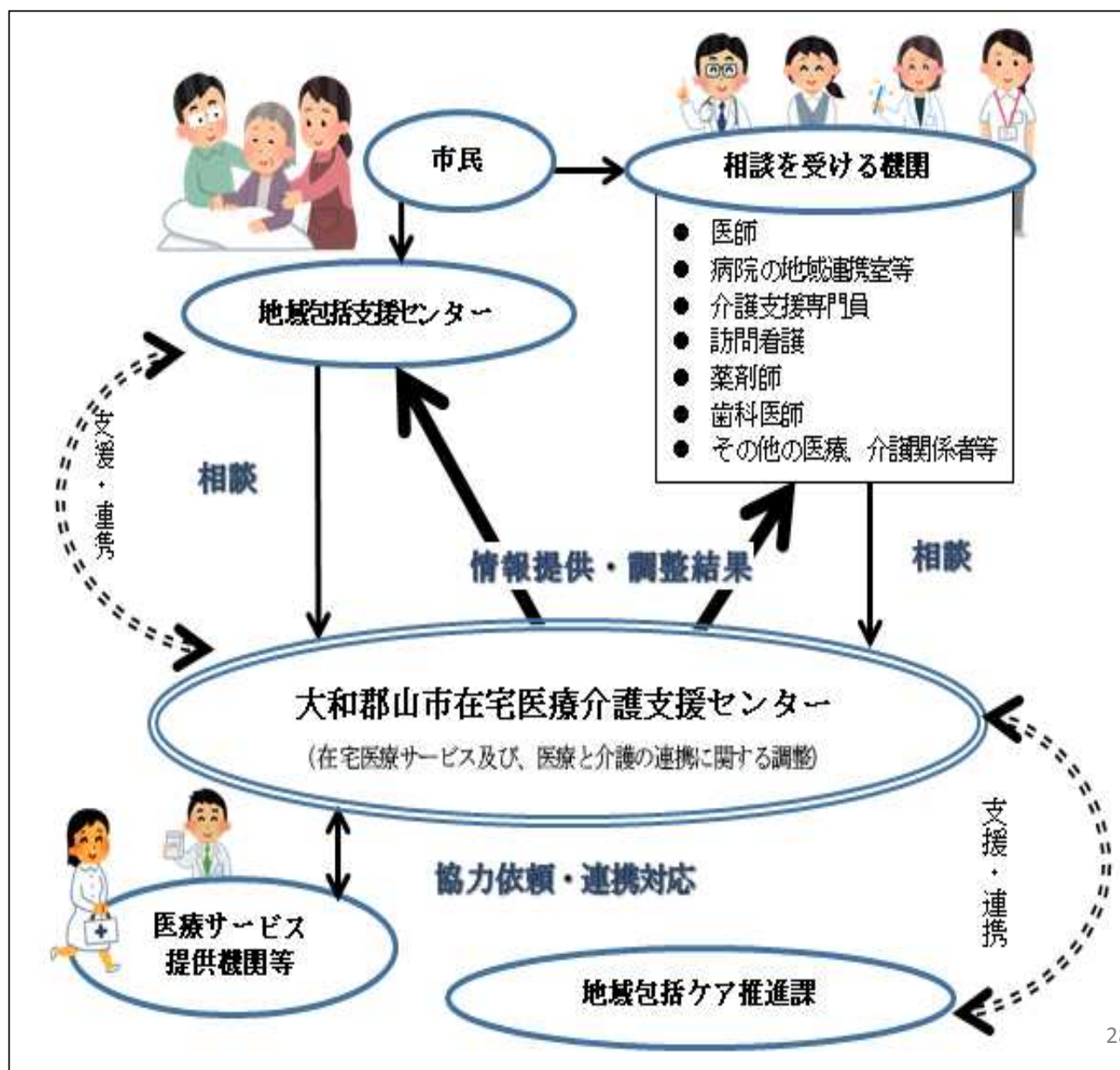
<こんなことで困ったらご相談ください>

- 訪問診療や往診を行う医師等の確保に関する相談
- 訪問看護などの在宅医療サービスの導入に関する相談
- 在宅移行のための退院調整に関する相談
- 在宅医療に関する一般的な相談
- 退院調整に関わる地域の医療、介護等関係者からの、退院調整への関わり方や対処の仕方についての相談に対する助言や支援 等

相談のフロー図



看護師等医療に関する知識を有し、かつ、介護支援専門員資格を持つ者など介護に関する知識を有する相談員等が相談に応じる。



⑥医療・介護Webマップ

（課題）

医療機関、介護事業所等の情報を市民が得ようとした時に、パンフレットでは情報の更新が遅れがちであるが、インターネット上には様々な情報サイトがあるため、どこを参考にしていよいか分からない。

（取り組み）

市内の医療機関、介護事業所等の情報を把握し、信頼性の高い市のHPから、市民に分かりやすく検索してもらえるシステムを構築する。

（内容）

Webマップ上に情報を配置することで、市民が各施設の所在地を自宅等との位置関係から把握することができ、そこに掲載された連絡方法や公式HPへのリンク等により、希望する各種医療・介護サービスの情報を市民及び事業者が、スムーズに一括して得ることができる。

その他の取り組み

専門職同士の連携をはかり、職務の質の向上や在宅医療・介護連携の課題などに協同で取り組むことを目的として、市内のケアマネジャー、看護師、理学療法士等による連絡会や行政内に地域包括ケアシステム構築に関するチームが設立。

大和郡山市居宅介護支援事業所連絡会

33カ所の居宅介護支援事業所に呼びかけて設立（平成28年10月設立）
ケアマネジャーへの実態把握アンケートを実施し、意見を反映できるよう交流、研修の機会づくりなどを行う。

主任介護支援専門員懇談会

主任ケアマネジャーに呼びかけて情報交換などを行う（平成28年10月～）
今後はケアマネジャーの支援として事例検討会での指導的立場を担うと共に、居宅介護支援事業者連絡会と連携して研修の企画などのサポートを行う。

大和郡山市訪問看護事業者連絡会

訪問看護ステーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、医療機関等に所属する訪問看護師等が、情報交換や研修会などを開催（平成28年10月設立）

大和郡山市リハビリテーション連絡協議会

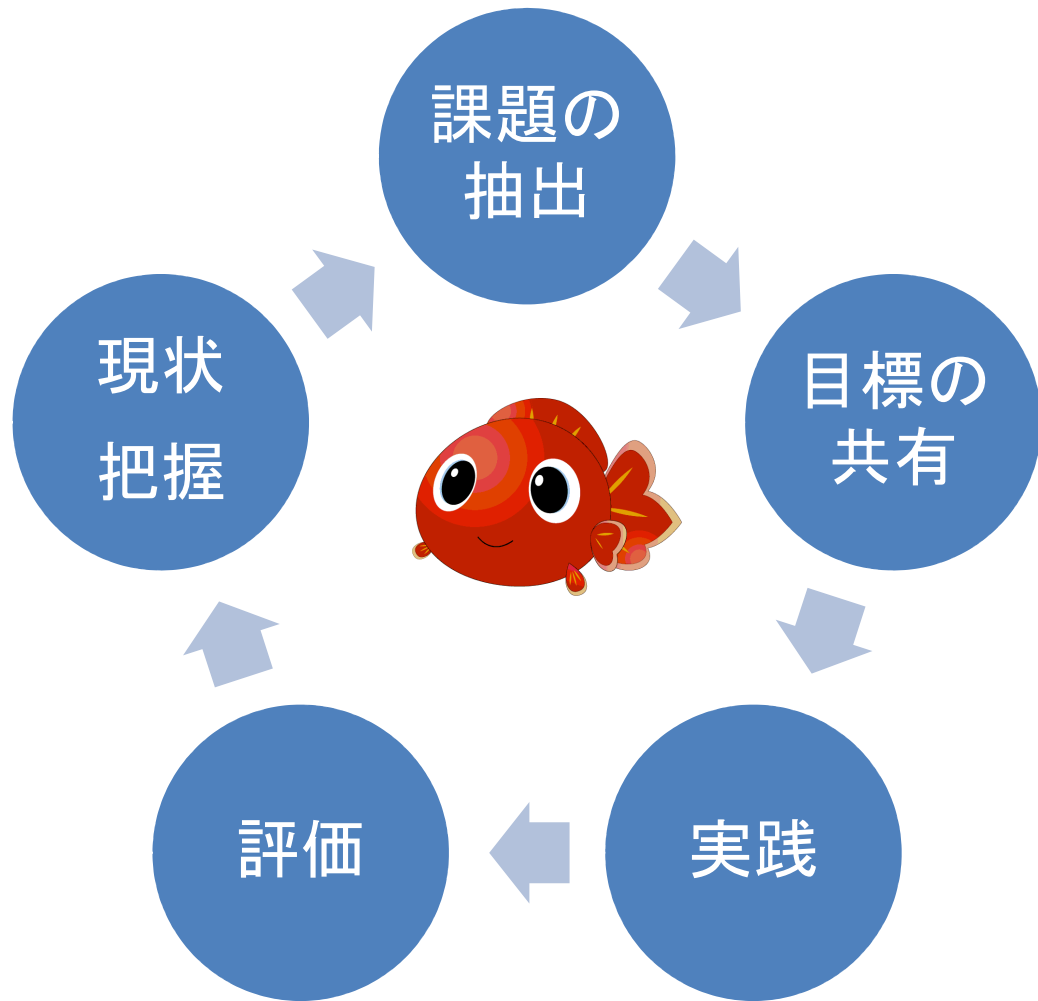
市内の医療機関、事業所に所属する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による連絡会（平成29年5月設立）

部局横断的検討会議（大和郡山市地域包括ケアシステム推進チーム）

地域包括ケアシステムの構築を推進するために、平成28年度に庁内部局横断的検討体制を設置。

（メンバー）副市長、福祉健康づくり部長、介護福祉課長、厚生福祉課長、地域包括ケア推進課長、保健センター所長、総務課長、市民安全課長、保険年金課長、住宅課長、社会福祉協議会 福祉課長 地域包括ケア推進課（事務局）

おわりに



在宅医療と介護の連携については、継続した取り組みが必要であり、大和郡山市在宅医療・介護連携推進会議でPDCAサイクルに則り協議、また、新たな課題が抽出され時は多職種で目標を共有し、具体策を検討する作業部会などを通じて、市全体の取り組みへとつなげていけるような体制の強化を図ります。



在宅医療・介護連携推進会議（平成29年4月1日）